



や 漢 研



※「漢研」とは、昔本院で漢方薬を調剤する際に、薬種を碎いたり、粉末にするために使用した器具で、正面玄関に飾ってあります。
※ 当院は①日本医療機能評価機構②人間ドック健診施設機能評価の認定施設です。

新年のご挨拶 ~絆・一期一会という心と共にある医療を目指して~

皆様、あけましておめでとうございます。昨年私たちは一生忘れることができないだろう衝撃を受けました。東日本大震災です。津波に流される家、がれき、原子力発電所の被災、これは本当に事実なのかと、信じられない出来事でした。また、日本だけでなく、ユーロ通貨危機、タイの洪水、アラブの春などの驚くような出来事があり、現在も多くの方が寒い冬に向かい、苦しんでおられます。

昨年の世相を表す今年の一文字は「絆」です。東日本大震災や紀伊半島豪雨などの大規模災害、ワールドカップで優勝した「なでしこジャパン」のチームワークなどが選ばれた理由です。

「絆」と響きあうような言葉ですが、「一期一会（いちごいちえ）」という言葉も、今年の四文字熟語として患者さんと相対する上で心得ておきたい言葉と思っています。たとえ何回も会う機会があるように思う人でも、これが最後かも知れないと考え、そのひと時を大切にしようということです。英語に訳すと、A Once-in-a-lifetime Chanceという素晴らしい響きをもった言葉となり、この言葉の本源は日本の茶道であることを誇りに思っています。



理事長
おおばやし こういち
大林 公一

当院では、昨年無事計画どおり第二病院を本院に統合しました。また石田俊彦元香川大学医学部付属病院長・名誉教授が常勤勤務となり、糖尿病センター・腎臓病センターなどを新たに開設しました。今年も、PDCA（計画 = plan、実行 = do、評価 = check、改善 = action）のサイクル活動を継続するとともに、5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）運動、KY（危険を予知する）活動をさらに推進していきます。さらに、来年5月、病院機能評価認定の更新に向けての作業も開始します。

高齢時代に入り、様々な合併症を抱えている患者さんが増えており、スタッフ間の「絆」、患者さんや家族との「絆」をよりいっそう高めて、尽力していく次第です。今年の年頭にあたりまして、皆様のご多幸をご祈願いたしますとともに、ご指導・ご鞭撻を承りますよう心よりお願ひいたします。

コラム

プラハの春



ヨーロッパ腎と透析と移植の国際学会（EDTA）がチェコの首都プラハで昨年の6月に開催された。到着した飛行機内では、スマタナ作曲の我が祖国の「モルダウ」が流れ、一瞬敬謙な気持ちになった。スウェーデンの国際空港に着いた時も、空港内に国王一家や、テニス界のスター、ビヨン・ボルグそしてゴルフ界の女王アニカ・ソレンスタムの像が大きく映し出され感動した事を思い出した。日本の空港では、残念ながらそのような演出はなかった。正直、日本もそうすればいいのにと思った。

学会では、腎不全治療新薬を腎の働きが2割になった患者さんに投与し、5割ほどまで回復するという素晴らしい発表を聞いた。これは、抗酸化作用が大きくかかわっているとの事で、当院独自のせんじ薬「大黄」も抗酸化作用という点で共通しているのに驚いた。

プラハでは、モルダウ川がゆっくりと流れ、かの有名な聖人像の並ぶカレル橋は黄金色に輝き、西岸にはプラハ広場の偉容が見えた。この美しさとは対照的にプラハは長い間、周辺国からの侵略を受けたが、民族的誇りを失わず、自らの文化を守り続けた気高い精神を感じた。

お土産にボヘミングラス（チェコ西部で作られた）にプラハのデザイナーであるアルフォンス・ミュシャの描いたアールヌーボー調のガラス器を買った。

会長 おおばやし せいいち
大林 誠一



あけまして
おめでとう
ございます



TRIANGLE

～キナシ デキゴトロジー～

献血

(H23.11.25)



避難訓練&消防訓練

(H23.11.16)



●キナシ大林病院における様々な出来事に対して、多方面の『角度(ANGLE)』から意欲的に接近しようとする『試み(TRY)』
●病院の立地 ⇒『川』『鉄道』『道路』に囲まれた、『トライアングル(TRIANGLE)地帯』

キナシ大林病院
すみれ保育所
だより



▲サンタさんと握手
(H23.12.2 クリスマス会)

診療科紹介 up-to-date (最新情報)

※診療日など詳しくはホームページをご覧下さい。



腎臓病センターでは、透析センターと重複する点もありますが、初期の腎症から末期腎不全（透析療法、腎移植）に至るまでを担当します。担当するのは日本腎臓学会指導医3名、専門医4名、日本泌尿器科学会指導医1名、専門医2名をはじめとするチームです。

腎症の初期では、診断および病態把握のための腎生検を昭和44年から行っており、40年余の期間に2000例以上行っています。

最近、特筆すべきは糖尿病性腎症から透析療法、腎移

腎臓病センター

院長 きなし 鬼無 まこと
信

植を必要とされる方が透析導入の44%を占めるように増加しました（2010年の日本透析医学会調査より）。糖尿病センターとも密なる連携をとりつつ、腎症悪化を防がなければなりません。

さらに、心腎連関という悪循環が腎機能を悪化させるということもわかつてきました。心臓循環チームとの連携も重要です。

腎症の原因は多岐にわたるため、院外の関連機関との連携も欠かせません。

しかし慢性腎臓病（CKD）と診断されても落ち込むことはありません。主治医とともに、根気強く病気と付き合い療養されれば、きっと良い結果が待っているに違いありません。

一医療人として考えること ①

病院では、常にさまざまな医療行為やケアが行われます。

そして（現段階では）人間が人間を相手として、さまざまな器械は使うものの、マニュアルで“手当て”が行われます。その“手当て”が時に、その人の人生を大きく変えてしまう可能性があるので、われわれはその責任の重さを自覚するとともに、やりがいを感じられるのだと思います。今回、病院の医療行為について、少し考えてみたいと思います。

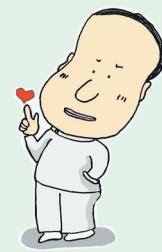
● プロ意識を持とう

われわれは専門的知識を持つプロです。そのことに常に誇りとやりがいを感じながら、自分をスキルアップしていきましょう。

● 素人感覚も残しておこう

矛盾するようですが、プロ意識が行き過ぎると、一般の方との間に意識がずれてしまい、独りよがりになりがちです。医療人である以前に、一人の人間として、いい意味での素人感覚は常に残しておきましょう。

副院長 くろずみ 黒住 ひろあき 泰明



● 相手の人生を尊重しよう

当然のことながら、患者さん一人ひとりにそれぞれの歴史があります。どんなに認知症が進んでいても、そのことを忘れずに一人の人間として大切にしましょう。自分の親と思って接するのもよいかもしれません。

● 自分自身が健康でいよう

当然のことですが、自分自身が病気をしていては、良い医療はできません。常に自己管理をして、心身ともに健康でいましょう。でも、自分が患者になってみると患者さんの気持ちもよく理解できるようになるので、入院体験もプラスになるかもしれません。

②へつづく

以前、私が病院の職員向けにお話した時の記録です。われわれがどう考えて医療を行おうとしているか、ご参考までに今回ここに転載させていただきました。

糖尿病センター長からの便り

1

～先生に 任せておけぬ 糖尿病～

糖尿病は別名、何と呼ばれているかご存知でしょうか？「国民病」「生活習慣病」「全身の病気」「血管が詰まる病気」「合併症の宝庫」「自己管理の病気」「心の病気」「人類を滅亡させる病気」「遺伝する病気」。いずれも糖尿病の特徴をよく表している名前です。

糖尿病専門医が陥りやすい欠点の一つに、糖尿病関連の検査はもれなくチェックしているのですが、その他の検査に関してはチェックをし忘れていることがあります。

糖尿病は自己管理の病気だと言い訳するつもりはないのですが、「先生に任せておけば大丈夫」ではないの

が糖尿病です。従って、少なくとも次にあげる項目については、自分から主治医に検査をするように言ってください。



糖尿病センター長
いしだ としひこ
石田 俊彦

- ① ガン検診（胸部レントゲン、便潜血、婦人科健診、マンモグラフィー、PSAなど）
- ② 動脈硬化健診（頭部・腹部CT、心電図、ABI、PWV、頸動脈エコーなど）
- ③ 糖尿病合併症健診（眼底、尿タンパク、尿アルブミン、振動覚検査など）

医療福祉相談

「介護保険の手続きについて」

医療相談グループ
医療ソーシャルワーカー ふじさわ たかお
藤澤 孝雄

介護保険は老後の不安要素のひとつである「介護」を社会全体で支える制度です。介護保険に加入するのは40歳以上の皆さんです。寝たきりや認知症などで常に介護が必要になったり、日常生活に支援が必要となったときには、所定の手続きをすることによって、介護保険のサービスを受けることができます。

手続きには次の3つの書類が必要です。まずは介護保険証で、65歳になるとご自宅に郵送されるものです。紛失した方や65歳未満の方は交付してもらう手続きを同時に行います。2つ目は主治医意見書で、主治医が作成する認定のための資料です。3つ目の要介護・要支援認定申請書は、市役所や役場の窓口にあります。手続きの方法は自治体によって若干の違いがありますのでご注意下さい。

また、医療相談室では介護保険制度やサービスの利用方法についても詳しく説明させていただくことができますので、お気軽にご相談ください。

病院の理念

- 患者さん中心の医療
- 高水準の医療の提供
- 地域の健康を支援する病院
- 働きがいのある職場づくり

患者・家族の皆様の権利

- 良質の治療を受け、安全が確保される権利
- 自己決定権および選択の自由の権利
- 尊厳を確保する権利
- 個人情報の機密保持と医療情報の開示を受ける権利
- 健康教育を受ける権利





透析センター長 かわはら 川原 かずひこ 和彦



寝る前の10~20分くらいが、私の読書タイムになっています。どんなに売れていても後味の悪い小説がありますが、そういう本はどうも好きになれません。

そこで最近どんな本を読んだのか、振り返ってみました。昨年一番は買ったのは、ミレニアム（ステイグ・ラーソン著）です。「全世界6000万部！」の言葉に引かれて第一部を買ったものの、外国人の名前は区別がつきにくく、ストーリーが頭に入つてこないからでしょうか、最初の10分でやめそうになりました。ところが15分過ぎからはすっかり入り込んでいました。

しかし、この著者は50歳で亡くなったため、この三部作で終了なのがとても残念です。また、お気に入りの作家に出会うと続けて読んでいくのも最近の傾向です。これもインターネットでの検索が容易になったせいでしょうか。

昨年初めて読んだ作家としては、桜庭一樹、東川篤哉、東直己などです。皆さんは最近どんな本を読んでいますか？

糖尿病教室へどうぞ



糖尿病は、食べ過ぎや運動不足がもたらす現代病です。

糖尿病治療の主な目的は、合併症を防ぎ健康的な生活を送るようにすることです。

食べ過ぎや運動不足が気になる方はいませんか。患者教室では各専門スタッフ（医師、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士）がお話をさせていただいている。ぜひ、お気軽にお参加ください。

糖尿病教室	とき	毎週金曜日(第4金曜日を除く)午後1時20分~2時
心臓病教室	とき	毎月第4金曜日午後1時15分~2時
腎臓病教室	とき	毎月第4土曜日午後1時~2時
	ところ	4階カンファレンス室 3階会議室 3階会議室

食べについて

今回は、ヘルシーで食物繊維が豊富なメニューをご紹介します。

豆腐ステーキ 茸あんかけ

(1人前分量)
●カロリー 140Kcal
●食物繊維 2.8g



- ① 木綿豆腐100gは2~3つに切って、重石をして水気を切り、塩コショウをしておく。
 - ② フライパンを熱し、マヨネーズ5gをいれ、豆腐がキツネ色になるまで焼く。
 - ③ エリンギ・しめじ・えのき茸（各20g）は食べやすい大きさに切って、だし汁60cc、醤油5cc、みりん2g、砂糖1gを煮て、水溶き片栗粉でとろみをつける。
 - ④ 焼きあがった②の上に③をかけ、彩りに貝割れ大根を飾る。
- * 油の代わりにマヨネーズを使用することで淡白な豆腐にこくができます。お好きなほうどうぞ。簡単なメニューなので、ぜひお試しください。

エコ推進室より

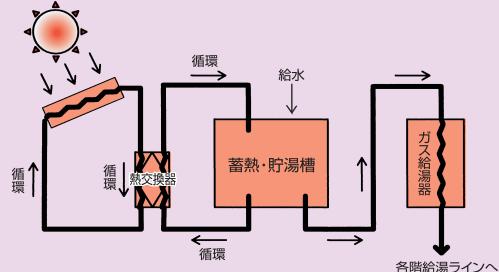
太陽熱の給湯利用

まつやま あきひろ
施設グループ 主任 松山 晃浩



今回から当院で取り組んでいる省エネに関する事例や省エネ設備について紹介していきたいと思います。

当院は病院屋上に集熱効率の高い平型集熱器を54台（集熱面積103.14 m²）設置し、太陽熱を給湯用として利用しています。強制循環式で、ソーラーパネルを通り、太陽熱で温まった温水と蓄熱・貯湯槽の水をそれぞれ循環させ、熱交換器を介して温められた蓄熱・貯湯槽の水をガス給湯器に送ることで、冷水から湯を沸かすより早く沸かす事ができ、燃料であるLPGの削減を図っています。これにより年間約385GJ（原油換算14.0キロリットル一斗缶約800杯分）のエネルギーを削減する事ができます。



それゆけ薬研ちゃん① —マスクの巻—

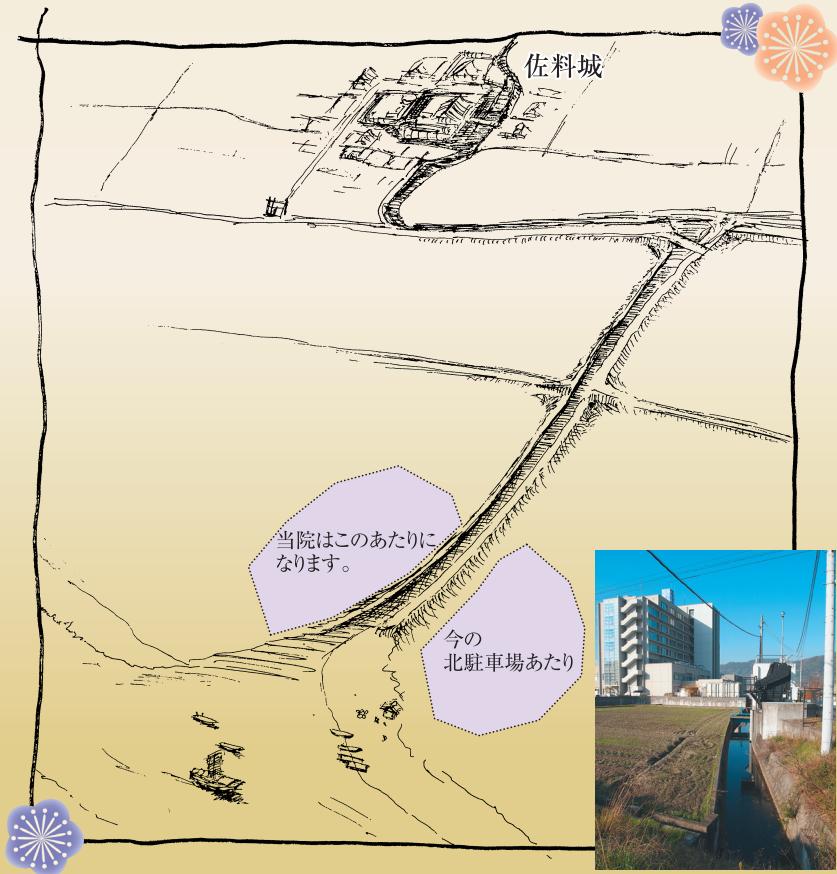
フキ&ゆう



笠居郷歴史さんぽ①

～舟入川～

絵・文／4階 看護助手 すわ 謙訪 ゆうすけ 祐介



▲現在の舟入川

当院と北駐車場の間にある、小さな川は「舟入川」といいます。現況では、少し幅のある用水路にしか見えませんが、往古には川と道の幅は逆転しており、道は近年車が通れるように拡げたもので、本来はせいぜい大八車（リヤカーくらいの大きさ）が通れる程度だったと思われます。

さて、「舟入川」と呼ばれるのは、もちろんここに船が通ったわけですが、これは中世の笠居郷の領主、「香西氏」が代々本拠地していた佐料城（讃稟館）と本津川（当時は飯田川）を結び、各地に物流と情報のネットワークの窓口としての役割を担っていました。

現在では土手を築き、西に伸びた香西氏の土木工事の名残は、当院付近を残してほとんど暗渠（あんきょ：地下に埋設したり、ふたをかけたりした水路）になっていますが、ほんの20年前までは、まっすぐに伸びる舟入川が見て取れました。JA機械センターの南側の道が不自然に広いのは、川があった部分を覆ったためです。

本津川から西へと延びた舟入川は、旧国道11号（現県道33号）を越えたあたりで南に向きを変え、木太鬼無線のT字路からまた西に向いています。この延長上に、香西氏累代360年の里城、佐料城の跡があり、領内から集めたものを送り出したり、畿内から買い求めたものを運んでいたのです。

職場紹介

保育所

Zoom in

とみなが かよこ
保育士 富永 加代子

い様子でそのままベンチへよじ登り、全身で喜びを表現してくれていました。しかし、ベンチから落ちたら危ないのではないかという意見が出て、ベンチを撤去するかどうかの検討も行いましたが、子供たちの発達を促すためにも、よじ登ったりすることも必要ではないかという結論になり、私たち職員がきちんと見守りや声掛けなどをし、落ちないように盾になるなどの対応を決めました。少しでも子供たちの「先生できたよ！」の声に寄り添っていきたいとの思いからです。

また、一年を通してさまざまな行事などを行い、子供たちが季節を実感できるようにしています。

難しいこともありますですが、これからも子供たちの成長を楽しみにしつつ、少しでも安全で楽しく過ごしてもらえるよう、ご両親とコミュニケーションを取って、精一杯頑張っていきたいと思います。



前列中央 浮田由美子（うきた ゆみこ）保育士
後列右端 富永加代子（とみなが かよこ）保育士



昨年の節分の様子

新医師紹介



泌尿器科
すえなが たけひろ
末永 武寛

初めまして。昨年11月より赴任させていただいております。平成19年4月より医師となり、5年目となりました。

出身地は宮崎県都城市です。趣味は野球、ゴルフです。まだまだ新しい環境に慣れておらず、皆さんにはご迷惑をおかけしますが、温かく見守ってください。

何か気付いたことがあればどんどんお声をかけていただけると嬉しいです。

今後ともよろしくお願ひ致します。

研修医紹介



研修医
おさき ひろき
尾崎 洋基

1月4日よりキナシ大林病院にて研修させていただいています。地元香川の医療に貢献できる医師になるべく、日々精進しております。この病院で働く3ヶ月間は、私にとっては2年間の研修期間における最後の3ヶ月となります。今までに学んできたことを生かし、さらに多くのことを吸収できることと期待しています。まだ至らない点も多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願ひいたします。

研修を終えて



研修医
はまの さとし
濱野 聰史

昨年の10月より3ヶ月、キナシ大林病院で研修をさせていただきました。思い返せばあっという間の3ヶ月でしたが、たくさんの先生方、スタッフの皆さん、そして患者さんから多くのことを学ぶことができました。このキナシ大林病院で得た経験や患者さんを思いやる精神を、今後の自分の人生に活かしたいと思います。短い間でしたが大変お世話になりました、ありがとうございました。

花ごみ

当院1階ギャラリーで写真の展示をお願いしている国分寺写真同好会の清水周一さんの作品です。新春にふさわしい作品です。



写真の題名「旭日昇天」

声・ごえ・Feed back・フィードバック

御意見箱に寄せられた皆様方のご意見と、病院長からの返答を抜粋で記載します。
(期間: 平成23年10月~12月)

Q 調剤薬局へ行く場所に植え込みにごみや雑草があり、汚い。

A 本当に申し訳ありません。早急に対応をさせていただきました。

Q 他市から入院したが、看護師やスタッフがとても礼儀正しく優しいのにびっくりした。ありがとうございました。

A お褒めの言葉ありがとうございます。これからもより一層努力してまいります。

Q 待ち時間に、パソコンでインターネットができればいいと思う。

A 検討した結果、コーナーを1ヶ所に作る方法がいいと思われますが、現在スペース的な余裕がなく、今後の検討課題にさせてください。

Q 食事が配られてから、取りにくるまでの時間が早い時で20分くらいしかなかった。時間が短すぎてゆっくり食べれない。

A 申し訳ありません。少しでもゆっくり食べていただけるよう、配慮させていただきます。

Q 診療証明書の文字が小さすぎて読めない。

A 見づらい場合、スタッフにお声をかけてください。コピーで拡大することにより、対応させていただきます。

新職員紹介

①職種 ②部署 ③採用日 ④出身地 ⑤趣味

あゆみ しょうこ 綾井 昌子 ①看護師②5階病棟 ③11/1④香川県 ⑤買い物、テニス	たけし まゆみ 武下 真弓 ①調理員②栄養科 ③12/1④香川県 ⑤映画鑑賞、旅行	まおの その みやこ 前之園 都 ①看護師②5階病棟 ③12/12④香川県 ⑤ドライブ	つづみ えい 堤 絵衣 ①看護助手②4階病 棟③12/16④香川 県⑤スポーツ

診療実績

23年	9月	10月	11月
外来患者数	13,078人	13,490人	13,662人
新入院患者数	154人	168人	161人
退院患者数	166人	164人	161人
地域医療支援病院紹介率	24.2%	20.1%	19.0%
救急車搬入件数	43件	25件	25件
救急車搬入後の入院数	18人	16人	12人
手術件数	43件	57件	51件

編集後記

2012年正月号(冬号)を増ページでお届けします。今年は辰年、辰の字には「振るう」という意味があり、陽気が動き、草木が伸長する状態を表しているようです。私たちの日本が、東日本大震災、原発事故を克服し、景気がよくなり、早く賑わいが戻ってきてほしいものです。本号では、いくつかの新しい記事を掲載しました。新病院になって7回目の正月を迎えるました。地域、患者さん、ご家族そしてスタッフの「絆」を大切にしつつ、昨年新設された、糖尿病センター、腎臓病センターの雲を得て昇竜せんことを願います。(K)